

食物アレルギーの加齢に伴う 耐性獲得に関する検討

出典	栄養・医科学(2186-8506)2巻1号 Page5-16(2013.03) (http://search.jamas.or.jp/link/ui/2015005243)
著者	上野晋作 他
調査地域	愛知県
調査時期	記載なし
調査対象	高校1年生(16歳) 高校3年生(18歳)
有効回答数	597人
診断方法	自己申告(既往)
有症率	2.2%
男女別有症率	男:2.2%、女:1.7%
調査概要	愛知県内の高校生を対象とし現在の有症率と小児期の食物アレルギー有症率を比較した論文。多くが耐性を獲得し男女差は認められなかった。耐性獲得率は鶏卵に比べ、魚介類や木の実類、穀類は低値であった。